

救急ワークステーション研修を開始しました。

宗像水光会総合病院において、救急ワークステーション研修を開始し、令和4年7月5日に開所式が行われました。



左から永島消防長、田山院長、原崎組合長

救急ワークステーション研修とは、救急隊員が救急車で病院へ出向し、救急医療の医師の指導の下で病院研修を受けながら病院で待機します。

待機中、重症患者の救急出動要請に対しては、救急隊とともに医師が救急車に同乗して出動するドクターカーとしての運用も行います。

この研修を通じて病院と消防本部の連携を強化し、病院前救急活動(プレホスピタルケア)の充実を図り、救命率の向上及び後遺症の軽減に繋げていきます。

